

## 職業奉仕委員会情報

### 奉仕の理想（理念）と職業奉仕論について

職業情報委員会 委員 渡邊 宏 二

#### ◆「職業奉仕を学ぶ意味」

今まで一度もクラブで職業奉仕委員会に携わったことが無いのに、今年度初めて地区の職業奉仕委員会のメンバーに仲間入りをさせていただきました。藤田委員長より、職業奉仕とは、ロータリーの中核をなす本質的要素であり、また他に誇り得る2016年度手続き要覧の基本概念であることを意味している。職業奉仕を理解することなくロータリーを理解することはできません。私達は職業奉仕を基本に立ち返って学ばなければなりません。「永続・発展の職業奉仕を」勉強しようという方針のもと委員長から配布された資料等を基に自分が理解し思っている職業奉仕について記したいと思います。

#### ◆「職業奉仕」という言葉の問題

「職業」とはお金を儲けるための手段です。私たちが生きていくための所得を得る手段でありこれは「自分のためのもの」です。一方、「奉仕」とは世のため人のためのものであって、すなわち自分以外の「人のためのもの」です。このように全く正反対の2つの言葉が1つになって職業奉仕といっているために非常に解かりにくいと思います。この言葉は完全なるロータリー用語であり、辞書には載っていません。そして、「職業奉仕」という言葉は、「職業」すなわち金を儲けることであり、「奉仕」すなわち世のため人のために尽くすことです。つまり、ロータリーの職業奉仕とは、「職業を営むこと（金を儲けること）が、世のため人のための奉仕となる」と思われるのです。ここが職業奉仕にとって一番分かり難い点です。

そこで、この問題を理解するために、RI2640地区深川純一PGの書かれた「奉仕の心」の一部を引用させていただきます。職業を営む心（金を儲ける心）も奉仕の心（世のため人のために尽くす心）も同じ一つの心であると思って下さい。そして、この

一つの心とは、すなわち「世のため人のために奉仕をする心を持って職業を営むべし」と考えます。この言葉は何を意味しているのかというと、それは自分の金儲けに対して「人を泣かせるような金儲けをしてはいけない、人をだまして金儲けをしてはいけない、非道德的、非社会的行為をして金儲けをしてはいけない、世のため人のためになるような金儲けをしなければならない」と言っているのであり、自分の職業に対して強く「倫理性」を要求しているのです。

職業奉仕とは、職業倫理の運動です。「ロータリー運動は倫理運動である」という言葉の意味です。すなわち「ロータリー運動は職業倫理を追及する運動である」ということです。ロータリーにとって職業倫理は基本的な考え方でありロータリーの哲学でもあります。

次に、視点を変えてこの問題を考えてみます。それは他団体との比較です。深川PGの理論を引用させていただきます。ロータリークラブ以外のアメリカ系奉仕クラブ（ライオンズクラブ、シビタン、コスモポリス等）は職業を通して儲けたお金の一部を奉仕に使ってください、職業時間の一部を割いて、もしくは余暇の時間を使ってボランティア活動をしてください等、いわば困った人を助ける「弱者救済を持って奉仕とする」という考え方です。職業の心（自分のためのもの）と奉仕の心（自分以外の人のためのもの）は相反する心であり、職業が同時に奉仕とは考えられず、それぞれ別の世界に存在するものであり、そのため彼らの行動から個人の職業倫理を排除しています。しかしロータリーは奉仕の基礎を職業倫理に置き、職業の心（自分のためのもの）も奉仕の心（自分以外の人のためのもの）も一つの心だと考えます。そのため一つの心を持って職業を営み、かつ奉仕をすると説いています。だからロータリーにおいて倫理に反する儲けは存在しません。もし、非倫理的儲け

において儲けたお金が奉仕に使われていたとしたら、果たしてそれが真の奉仕といえるでしょうか？もし、だまされ、泣かされたお金の一部が奉仕に使われていたとしても、他団体は問題にしません。なぜなら彼らの標語は「Not I serve, but We serve」なのです。個人では奉仕をせず、クラブが奉仕をするのです。個人の倫理については何も言いません。強いていえばクラブとしての倫理です。一方ロータリーの標語は「I serve」です。奉仕は個人の職業倫理において、奉仕の心を職業社会に実践するものです。クラブはその集合体であり、ロータリークラブとしての職業奉仕の実践機能はなく、団体奉仕という概念はありません。ロータリーに入会される時、クラブ全会員に対して、その人が入会してもよいかどうかを問われます。もし不適格であると会員の誰かが判断したならば、その人は入会を許されません。ロータリーは入会に際しても、その人の倫理性を問うのであり、他団体にはこういう機能はありません。これが他団体とロータリーとの大きな相違点です。もし、「ロータリーの職業奉仕を一言で表現するならば、どのように表現するのですか」と問われたら、「世

のため人のために奉仕する心をもって職業を営むべし」と答えます。この言葉こそが職業奉仕にとって一番大事な言葉であり、基礎であり、決して忘れてはならない言葉であると思っています。

#### ◆職業奉仕の実践

「ロータリークラブというのは毎週例会を開き金持ちの暇人の集まりですね」とよく言われます。この言葉に対して私は残念でなりません。そんな人たちに対しロータリーの例会は、食事をするために出席するものではありません。卓話を聞くために出席し、卓話を聞いて職業倫理を学ぶためです。我々は職業人の集まりです。例会に出席することにより、職業人同士の体験談、知識、知恵等を耳にし、職業倫理を互いに学びあっていると答えるようにしております。卓話は聞いては忘れ、聞いては忘れてしまいがちなのですが、しかし何度も何度も聞き、そして忘れていくうちに、次第に自分自身が磨かれ、ロータリー（職業倫理）が身につけていくものと確信しております。

「入りて学び出でて奉仕せよ」を実践しようではありませんか。